

# 神戸事業所で兵庫県石油コンビナート等 総合防災訓練を実施しました



当社神戸事業所（神戸市東灘区御影浜町）で本年9月10日、令和6年度兵庫県石油コンビナート等総合防災訓練が7年ぶりに開催され、当事業所、県、神戸市消防局、神戸海上保安部、県警などから関係者約150名が訓練に参加しました。本訓練は、陸上・海上2か所で実施し、滞りなく完了しております。

## 陸上・海上の2か所で放水、オイルフェンス展張

県内には神戸、東播磨、姫路臨海、赤穂の4区域の石油コンビナート等特別防災区域があり、例年持ち回りで訓練が行われています。神戸事業所はLPG（液化石油ガス）、石油化学製品用の計66基のタンク設備を保有し、この日は、南海トラフ地震の余震後に配管から石油化学製品が漏洩したとの想定で陸上訓練が始まりました。

地震発生を受けて災害対策本部、現地指揮所が設置され、自衛防災隊が初期活動を行う一方、119番通報で駆け付けた神戸市消防局、当事業所の高所放水車など計17台の消防車両が出動し、タンクに向かって一斉放水しました＝写真。引き続き海上訓練を実施するため岸壁に会場を移し、船から燃料油が漏洩した想定の下、拡散を防ぐためのオイルフェンス展張訓練、更に巡視艇からの放水訓練も行われました。訓練は約200名が観覧しました。